

# 令和4年度 出資団体評価シート

## 1 基本情報

団体名	(一財)札幌市環境事業公社	所管課	環境局環境事業部総務課
基本財産	40,000千円	記入者	担当 鈴木 電話 011-211-2907
設立年月日	平成2年(1990年)4月1日	本市出資額	20,000千円 (出資割合 50.0%)
設立・出資目的	消費活動や事業活動の活性化に伴い、廃棄物が急増し、民間で適正処理することが困難な廃棄物が存在することから、事業者処理責任の原則を崩さずに、事業系廃棄物の適正処理と減量、リサイクルを推進するために設立された。 廃棄物の収集運搬及び再資源化等の処理に関する事業等を行うことにより、清潔で快適な都市環境の確保と資源循環型社会の推進を図り、地域社会の発展と地球環境の保全に寄与することを目的としている。	沿革	平成2年 財団法人札幌市環境事業公社設立 平成6年 事業系ごみ収集運搬事業開始 平成10年 びん・缶・ペットボトル選別事業開始 平成21年 不燃用プリペイド袋リサイクル事業開始 平成24年 一般財団法人(非営利型)に移行
代表者	理事長(常勤) 浦屋 謙 (市OB)	出資年月日	平成2年(1990年)4月2日
主な出資者	① 札幌市 (50.0%) ② (一社団)札幌建設業協会 (25.0%) ③ (一財)札幌市環境事業公社 (25.0%) ④ ⑤ ⑥		
団体所在地	〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目 サン経成ビル内 電話 011-219-5353		

## 2 実施事業 (詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	
[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① 調査啓発事業(自主事業)(7ページ)	② びん・缶・ペットボトル選別事業(自主・受託事業)(8ページ)
資源の有効活用及び再利用の研究を進めるとともに、リサイクル及び廃棄物の減量等に関する普及啓発に寄与	資源選別センターにおいて、事業系資源物の資源化(自主)、家庭ごみのびん・缶・ペットボトルの選別(受託)
③ ごみ資源化工場ほか施設管理事業(受託事業)(9ページ)	④ 大型ごみ収集センター管理運営事業(受託事業)(10ページ)
事業系ごみのリサイクル促進のため、ごみ固形燃料の生産・供給	大型ごみ戸別有料収集の円滑な業務遂行
⑤ 事業系ごみ収集運搬事業(自主事業)(11ページ)	⑥ 不燃用プリペイド袋リサイクル事業(自主事業)(12ページ)
事業系一般廃棄物の収集運搬許可を有するのは当団体のみであり、廃棄物の安定的かつ継続的な適正処理の維持	本市のごみ埋立地の延命化・資源の有効利用促進を図るため、不燃用プリペイド袋から資源物の選別・再資源化
⑦ 中沼プラスチック・雑がみ選別センター施設管理事業(受託事業)(13ページ)	⑧ 剪定枝等処理事業(自主事業)(14ページ)
中沼プラスチック・雑がみ選別センターを適正に管理し、容器包装プラスチック及びごみのリサイクルを推進	剪定枝などの生木の破碎、チップ化により資源の有効活用に寄与
(2) 総支出に占める事業支出割合	99.2% (主要事業支出合計 6,794,181千円 ÷ 総支出 6,847,535千円)
(3) 主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
理由	事業系一般廃棄物の収集運搬の他、ごみ資源化工場等5施設の運営管理などを通じ、都市廃棄物の適正処理と減量・リサイクルの推進に大きな役割を果たしている。
(4) 主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 実施されている <input type="checkbox"/> 一部見直す必要がある <input type="checkbox"/> 実施されていない
理由	札幌市内の事業所から排出される一般廃棄物及び再生可能品の収集運搬と、分別リサイクルを通じて、事業系廃棄物の適正・効果的な処理、資源化の推進を実現している。また、剪定枝等処理事業に関する調査研究などの調査啓発事業や技術開発に取り組むことで、事業系廃棄物の適正な処理体制の確立に向けた先導的役割を果たしており、廃棄物行政や地域社会へ貢献する十分な事業が実施されている。

## 3 団体職員・構成員等

令和4年4月1日現在(単位:人)

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数	プロパー職員の年齢構成				役員の任期	
役員					9	10歳代	0	40歳代	6	理事	2年
常勤理事	1	1	0	0		20歳代	2	50歳代	21	監事	4年
常勤監事	0	0	0	0		30歳代	4	60歳代	0	代表権のある役員 の就任年月	
非常勤理事				5		平均年齢		48.5	歳	理事長	R02.6
非常勤監事				2						副理事長	
職員					77	職員総数の推移(人)					
常勤管理職	6	0	9	0		R03.4.1時点	77				
常勤一般職	10	0	24	28		R04.4.1時点	77				
非常勤職員				0							

#### 4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区 分			R2年度決算	R3年度決算	(経常収益比)	(前年比)	
財務状況	正味財産増減計算書	経常増減	経常収益(a)	6,985,930	7,238,624	(100.0%)	(+252,694)
			経常費用(b)	6,785,128	6,847,535		(+62,407)
			うち管理費等(c)	32,698	33,774	(0.5%)	(+1,076)
			うち人件費(d)	445,335	458,793	(6.3%)	(+13,458)
			当期経常増減額(e)	200,802	391,089		(+190,287)
			当期正味財産増減額(f)	110,163	365,454		(+255,291)
	貸借対照表	資産(g)	流動資産(h)	2,532,979	2,806,092		(+273,113)
			固定資産(i)	1,233,823	1,262,064		(+28,241)
			うち基本財産(j)	40,000	40,000		(0)
			負債(k)	1,692,557	1,628,456		(▲ 64,101)
		流動負債(l)	853,793	780,110		(▲ 73,683)	
		固定負債(m)	838,764	848,346		(+9,582)	
		正味財産(n)	2,074,245	2,439,700		(+365,455)	
		借入金残高(o)	0			(0)	

#### R3年度決算の概要

区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
a・ b・ e・ n	経常収益(a)については、事業系ごみ収集運搬事業におけるごみ収集量増の影響により、前年比252百万円余増加した。 一方、経常費用(b)についても、事業系ごみ収集運搬事業におけるごみ収集量増に起因する処分料の増加等の影響により、前年比62百万円余増加した。 以上の結果、当期経常増減額(e)は、前年比190百万円余増の391百万円余、これに当期経常外増減額及び法人税等を差し引きした当期一般正味財産額(f)は、365百万円余となった。
h	流動資産(h)は、当期一般正味財産増減額(f)が365百万円余と良好な決算だったことから、前年比273百万円余増加、また固定資産(i)は、当期の固定資産調達等に起因し、前年比28百万円余増加したため、資産(g)は、301百万円余増加した。
k	流動負債(l)は、事業系ごみ収集運搬事業における前受金の減少等に起因し、前年比73百万円余減少、また固定負債(m)は、リース債務の増加に起因し、前年比9百万円余増加したことにより、負債(k)は64百万円余減少した。

※詳細は、別添の貸借対照表、正味財産増減計算書を参照。

#### 5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区 分	R2年度決算	R3年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)
市委託料	1,057,180	1,064,360	(+7,180)
市業務委託料	1,057,180	1,064,360	(+7,180)
うち随意契約	1,057,180	869,000	(▲ 188,180)
市指定管理費	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)
(参考) 再委託額	528,757	527,483	(▲ 1,274)
うち市業務委託分	528,757	527,483	(▲ 1,274)
再委託率	(50.0%)	(49.6%)	(▲ 0.5%)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高	0	0	(0)
損失補償等限度額	0	0	(0)
損失補償契約等に係る債務残高	0	0	(0)
(参考) 市施設利用料金収入	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)

## 6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項目		R2年度	R3年度	(前年比)	評価基準	備考
(1)健全性	剰余金(n-j)	2,034,245	2,399,700	(+365,455)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷g)	55.1%	60.0%	(+4.9%)	≥50%	正味財産÷資産
	流動比率(h÷l)	296.7%	359.7%	(+63.0%)	≥150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(i÷n)	59.5%	51.7%	(▲7.8%)	≤100%	固定資産÷正味財産
	借入金依存度(o÷g)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	借入金残高÷資産
(2)生産性	職員一人当り経常収益	90,726千円	94,008千円	(+3,282千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	6.4%	6.3%	(▲0.0%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当り管理費	425千円	439千円	(+14千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	0.5%	0.5%	(▲0.0%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
(3)自立性	市依存度(収入)	15.1%	12.0%	(▲3.1%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	15.1%	14.7%	(▲0.4%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益
健全性の評価		<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 概ね健全 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い				
理由	<p>健全性については、良好な決算内容であったことに起因し、剰余金が前年に引き続き増加、また、自己資本率、流動比率、固定比率は、いずれも評価基準を満たしている。</p> <p>生産性については、職員一人当たり管理費が、前年比で微増しているものの、健全性の評価と同様、良好な決算内容であったことに起因し、職員一人当たり経常収益が前年比増、人件費率が前年比減となっており、概ね評価基準を満たしている。</p> <p>自立性についても、健全性の評価と同様、良好な決算内容であったことに起因し、市依存度及び市財政的関与割合が前年度比減となっており、評価基準を満たしている。</p> <p>これらを総合的に勘案し、「非常に高い」と評価した。</p>					

(注1)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料(随意契約分)+市指定管理費(非公募分)+市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料+市指定管理費+市施設利用料金収入

## 7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、年度ごとの指標(※2)の達成状況とその評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

### (1)出資・出捐

○取組目標		現状値	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名	(R2年度)				
○出資の見直し検討						
①	市出資比率	目標	20,000千円 (出資比率50%)	20,000千円 (出資比率50%)	20,000千円 (出資比率50%)	
		実績	20,000千円 (出資比率50%)	20,000千円 (出資比率50%)		
		評価		達成		
②	出資比率の見直し検討	目標	検討調整	検討調整	引き下げ時期決定	
		実績	検討調整	実施		
		評価		達成		
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						

(2) 人的関与

○取組目標		現状値	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名	(R2年度)				
○市職員派遣の継続						
①	市派遣職員数	目標		1人	1人	1人
		実績	1人	1人		
		評価		達成		
②	市職員の評議員への就任数	目標		1人	1人	1人
		実績	1人	1人		
		評価		達成		
③	市職員の役員への就任数	目標		2人	2人	2人
		実績	2人	2人		
		評価		達成		
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

(3) 団体の活用

○取組目標		現状値	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名	(R2年度)				
○団体の保有施設の活用による業務の安定的な実施						
①	ペットボトル品質評価ランク	目標		中沼A・駒岡A	中沼A・駒岡A	中沼A・駒岡A
		実績	中沼A・駒岡A	中沼A・駒岡A		
		評価		達成		
②	資源選別センター見学者数	目標		300人 (+11%)	1,000人 (+333%)	2,000人 (+100%)
		実績	270人 (前年度比)	287人		
		評価		未達成		
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設見学を中止としている期間が続いている。札幌市のごみ処理施設の見学が再開し次第、感染防止対策を行った上で見学者数の回復を目指す。						

○取組目標		現状値	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名	(R2年度)				
○事業系ごみ等の適正処理						
①	事業系ごみ等の適正で効率的な処理	目標		継続	継続	継続
		実績	実施	実施		
		評価		達成		
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

○取組目標		現状値	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名	(R2年度)				
○調査研究・普及啓発活動の継続的な取組み						
①	調査研究の実施	目標		継続	継続	継続
		実績	実施	実施		
		評価		達成		
②	啓発資料の配布数 (市内全小学4年生対象)	目標		約17,000部	約16,000部	約16,000部
		実績	16,918部	16,534部		
		評価		達成		
③	啓発ポスターの掲示車両台数	目標		10台	12台	14台
		実績	8台	10台		
		評価		達成		
④	事業者等への啓発活動の実施 (HPアクセス件数)	目標		80,000件	80,400件	80,800件
		実績	78,914件	96,487件		
		評価		達成		
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

(4) 更なる経営の安定化

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○資源選別施設の計画的な施設保全の実施						
①	計画稼働日数の達成率	目標		100%	100%	100%
		実績	100%	100%		
		評価		達成		
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○事業系ごみ収集運搬の効率化						
①	申込者に対するガイドラインの周知徹底	目標		継続	継続	継続
		実績	実施	実施		
		評価		達成		
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

(5) 団体統制

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○適正管理の継続						
①	内部監査の継続実施	目標		継続	継続	継続
		実績	継続	実施		
		評価		達成		
②	外部監査の継続実施	目標		継続	継続	継続
		実績	継続	実施		
		評価		達成		
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

(6) 札幌市の施策との連動

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○知的障がい者の就労機会の確保等						
①	障害者就労施設からの委託業務及び物品等発注件数・金額	目標		4件 200,000円	4件 200,000円	4件 200,000円
		実績	6件 291,634円	7件 303,277円		
		評価		達成		
②	障がいのある方の雇用人数	目標		1人 (法定1)	1人 (法定1)	1人 (法定1)
		実績	0人 (法定1)	0人 (法定1)		
		評価		未達成		
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						
②雇用していた障がいのある方が令和2年9月に退職され、以降法定雇用率を満たしていない。従前より障がいのある方を正職員等として無期雇用することが最善と考えているが、今後は労働環境への配慮等、雇用の確保と定着に取り組む必要がある。						

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○家庭系一時多量ごみの収集体制の再構築						
①	一時多量ごみの収集申込 に対する実収集率	目標		100%	100%	100%
		実績	100%	100%		
		評価		達成		
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

## 8 情報公開等の状況

ホームページ公開情報	
ホームページアドレス	<a href="https://www.kankyou-sapporo.jp/">https://www.kankyou-sapporo.jp/</a>
Eメールアドレス	<a href="mailto:swmrf@kankyou-sapporo.jp">swmrf@kankyou-sapporo.jp</a>
<b>【経営状況等】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 定款 <input checked="" type="checkbox"/> 役員名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 団体機構図 <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画書 <input checked="" type="checkbox"/> 予算書 <input checked="" type="checkbox"/> 事業報告書 <input checked="" type="checkbox"/> 決算書 <input type="checkbox"/> 中長期的な経営計画	
<b>【事業情報等】</b> <input type="checkbox"/> 実施事業（イベント）情報 <input type="checkbox"/> 管理施設情報 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ごみの適切な排出方法、ごみの収集日の変更、採用情報、入札）	
ホームページ以外の情報媒体	
広報誌・冊子の発行：なし	

※特記ない限り、本評価シート情報は令和4年7月1日現在のものです。

# 事業評価 ( 1 ) 調査啓発事業 (自主事業)

1. 事業概要	事業所管課：環境局環境事業部総務課	担当：鈴木	電話：011-211-2907
(1)事業内容	(1)調査研究事業 ①剪定枝等処理事業に関する調査研究 受入量の変動や需要先の増減等による影響を低減し円滑に事業運営を行うため、下記の研究を実施した。 i 剪定枝チップの有効活用方法等に関する調査研究 ii 粉砕機ハンマーに関する調査研究 (2)普及啓発活動 ①広報活動（事業概要の発行・配布、キッズパンフレットの提供他） ②各種イベントへの参加・協賛等 （バーチャル環境広場さっぽろ2020への出展及び協賛、さっぽろこども環2020への協賛）		
(2)事業目的	調査研究事業：廃棄物の「減量」「資源化」「事業の効率化」を推進するため、資源の有効活用及び再利用の研究を進めることを目的とする。 普及啓発活動：廃棄物の減量リサイクルの重要性を、市民・顧客に広くPRすることを目的とする。		
(3)事業開始	平成2年(1990年)		

## 2. 実施結果

(1)事業収支 (単位：千円)	項目	R2年度	R3年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)	0	0	(0)	
	( 0.0% )	( 0.0% )			
市補助金・交付金・負担金			(0)		
市業務委託料			(0)		
市指定管理費			(0)		
市施設利用料金収入			(0)		
自主事業収入(補助金除く)			(0)		
その他収入			(0)		
費用(支出)	42,431	40,277	(▲ 2,154)		
事業費	42,227	40,078	(▲ 2,149)		
管理費等	204	199	(▲ 5)		
収支差	▲ 42,431	▲ 40,277	(+2,154)		
収支比率	0.00%	0.00%	(0)		
(2)活動指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	イベントへの参加	1回	1回	1回	1回
②	「キッズパンフレット」の小学生への配布数	16,918部	約17,000部	16,534部	約16,000部
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	ホームページアクセス件数	78,914件	80,000件	96,487件	80,400件
②	「啓発ポスター」の応募参加者数	0人	100人	204人	100人
③					
④					
⑤					
⑥					

## 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない 調査研究事業では、「資源の有効活用及び再利用の研究」として剪定枝処理事業に関する調査研究に取り組み、事業目的である廃棄物の「減量」「資源化」「事業の効率化」を推進しているほか、普及啓発活動では、イベントへの参加や協賛等を通じ、廃棄物の減量リサイクルの重要性を市民・顧客に広くPRしており、事業効果は十分に出ていると評価できる。 なお、例年行っていた啓発ポスターをごみ収集車の車体側面に掲示する「走る掲示板」の啓発活動については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため小学校が休校になった影響で、令和2年度は実施困難となり中止しているが、今年度は実施することとしている。 ホームページアクセス数については、平成30年度から段階的に「WEBサポート機能」を充実させたことで大きく増加しており、さらに、令和3年1月から新たに追加した一般市民向けの「WEB工場見学」についても確実にアクセス数が増えており、取り組みの効果が評価できる。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善 当該事業は、事業内容が「調査研究」及び「普及啓発」であることから直接的な事業収入は発生せず事業収益は赤字であるが、事業目的に対する事業効果は十分出ていること、公社全体の収支状況が概ね良好であることを踏まえると、事業規模は適切であり良好と評価できる。

# 事業評価 ( 2 ) びん・缶・ペットボトル選別事業

1. 事業概要	事業所管課： 環境局環境事業部循環型社会推進課	担当： 中塚	電話： 011-211-2928
(1)事業内容	<p>本市がごみステーションで混合収集する家庭系資源物（びん・缶・ペットボトル）、及び公社が収集する事業系資源物を、品目ごとに分類、異物除去等の選別を実施し、圧縮・梱包等して一時保管したのち、指定法人やリサイクル事業者への売却・引渡しを実施する。</p> <p>家庭系資源物については、容器包装リサイクル法に基づき本市が実施する容器包装廃棄物の分別・圧縮・梱包・保管業務に係る受託事業として、事業系資源物については、公社の自主事業として実施している。</p> <p>また、令和3年10月から、本市が家庭系資源物と同日に別袋収集する簡型乾電池の選別・梱包・保管業務をあわせて実施している。</p>		市委託料(随意契約) 869,000
(2)事業目的	家庭系及び事業系廃棄物の減量、適正処理、及び資源の有効利用の確保を図るため。		
(3)事業開始	平成10年(1998年) 10月1日		

## 2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R2年度	R3年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		863,500 ( 12.4% )	869,000 ( 12.0% )	(+5,500)
市補助金・交付金・負担金	市補助金・交付金・負担金			(0)	
	市業務委託料	863,500	869,000	(+5,500)	
	市指定管理費			(0)	
	市施設利用料金収入			(0)	
	自主事業収入(補助金除く)			(0)	
	その他収入			(0)	
費用(支出)	費用(支出)	931,682	929,742	(▲1,940)	
	事業費	927,192	925,156	(▲2,036)	
	管理費等	4,490	4,586	(+96)	
収支差		▲68,182	▲60,742	(+7,440)	
収支比率		92.68%	93.47%	(+0.78%)	
(2)活動指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	選別処理量	36,831t	35,470t	36,638t	35,660t
②	選別処理率	100%	100%	100%	100%
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	ペットボトル品質調査結果	中沼：A 駒岡：A	中沼：A 駒岡：A	中沼：A 駒岡：A	中沼：A 駒岡：A
②	※上記評価はA・B・Dの3ランクで評価され、Aの場合は引取りを継続、Bの場合は品質向上の要請があるが引取りを継続、Dの場合は当面の引取りは継続するが、改善計画書の提出及び実施を求められることがある。				
③					
④					
⑤					
⑥					

## 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	<p>搬入物の選別処理率は100%を維持しており、また、ペットボトル品質評価は両施設ともにAランクであり、指定法人やリサイクル事業者への円滑な引き渡しが行われていることから、適切な業務遂行のもと、廃棄物の適正処理及び資源の有効活用に対し、一定の成果を上げることができていると認められるが、より一層の合理的かつ効率的な再資源化のため、更なる品質の向上を目指す必要がある。</p>
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	<p>施設の経年劣化により、設備・機械等の点検・修繕の費用が増加することが見込まれるため、可能な限り事業費の削減を進める必要がある。</p>



事業評価 ( 3 ) ごみ資源化工場ほか施設管理事業 (受託事業)

1. 事業概要	事業所管課： 環境局環境事業部施設管理課	担当： 伊藤	電話： 011-211-2922
(1)事業内容	札幌市ごみ資源化工場（燃料工場）は、紙くず・木くず・廃プラスチック（塩ビを除く軟質プラスチック）等の資源化ごみを原料とし、固形燃料（RDF）として再生する施設であり、当団体は、この施設等を適正に運営するため、総合的な施設管理を実施している。		
(2)事業目的	ごみ資源化工場等を適正に管理し、紙くずや木くずなどの事業系ごみを固形燃料化するリサイクルを推進する。		
(3)事業開始	平成2年(1990年)		
			市委託料(随意契約) 83,600

2. 実施結果

(1) 事業収支 (単位: 千円)	項目	R2年度	R3年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		82,060	83,600	(+1,540)
	( )	( 1.2 % )	( 1.2 % )		
	市補助金・交付金・負担金			(0)	
	市業務委託料	82,060	83,600	(+1,540)	
	市指定管理費			(0)	
	市施設利用料金収入			(0)	
	自主事業収入 (補助金除く)			(0)	
	その他収入			(0)	
費用 (支出)		72,780	76,682	(+3,902)	
	事業費	72,429	76,304	(+3,875)	
	管理費等	351	378	(+27)	
収支差		9,280	6,918	(▲ 2,362)	
収支比率		112.75%	109.02%	(▲ 3.73%)	
(2)活動指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	機器故障等による資源化ごみの受け入れ停止	0回	0回	0回	0回
②	機器停止等による資源化工場運転停止	0回	0回	0回	0回
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	固形燃料生産量 (t/年)	12,692	13,840	12,038	13,000
②	二酸化炭素削減量 (t/年)	13,383	14,000	12,642	13,000
③					
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	総合的な施設管理を適切に行ったことで、事業系の木くず、紙くず等を単に焼却することなく、バイオマス燃料としてリサイクルされ清掃工場の負荷軽減に貢献したと共に、この燃料の利用により化石燃料の使用量が抑制され、二酸化炭素排出量の削減が図られた。
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	適切な人員管理と経験の蓄積により効率的に業務を遂行した。

事業評価 ( 4 ) 大型ごみ収集センター管理運営事業 (受託事業)

1. 事業概要	事業所管課：環境局環境事業部業務課	担当：佐藤（寿）	電話：011-211-2916
(1)事業内容	<p><b>【概要】</b>                  大型ごみ収集は、年間50万件前後の申込みを電話受付業務受託者が電話で受付、年間80万個前後の大型ごみを収集業務受託者が個別に収集している。大型ごみ収集センター管理運営事業は、受付から収集までの一連の作業が円滑に行われるよう管理することを目的としており、電話受付業務受託者、収集業務受託者の他、業務課及び各清掃事務所間における大型ごみ収集に関する総合的な調整及び苦情・問い合わせ等の対応を担っている。</p> <p><b>【業務内容】</b>                  本事業の契約業務内容は以下のとおり                  ・市と電話受付業務受託者との連絡・調整業務                  ・収集業務受託者の業務管理、指導及び本市等関係機関との連絡調整                  ・市民からの苦情、問い合わせ対応                  ・大型ごみ収集に係る集計、統計資料作成                  ・受付システム登録情報の管理業務</p>		市委託料(随意契約) 22,055
(2)事業目的	市・電話受付業務受託者・収集業務受託者と連絡・調整を図り、大型ごみの受付から収集までの一連の作業を円滑に迅速に行うことを目的としている。		
(3)事業開始	平成11年(1999年)		

2. 実施結果

項目		R2年度	R3年度	(前年比)	
(1)事業収支(単位:千円)	収入(経常収益比)	21,640	21,450	(▲190)	
		( 0.3% )	( 0.3% )		
	市補助金・交付金・負担金			(0)	
	市業務委託料	21,640	21,450	(▲190)	
	市指定管理費			(0)	
	市施設利用料金収入			(0)	
	自主事業収入(補助金除く)			(0)	
	その他収入			(0)	
	費用(支出)	30,467	27,434	(▲3,033)	
	事業費	30,320	27,299	(▲3,021)	
管理費等	147	135	(▲12)		
収支差	▲8,827	▲5,984	(+2,843)		
収支比率	71.03%	78.19%	(+7.16%)		
(2)活動指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
① 苦情等処理件数		2,570件	目標値なし	3,144件	目標値なし
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
① 大型ごみ収集センター受付応答率(受付数/入電数)		79.1%	85%以上	83.2%	85%以上
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない 年間50万件前後に及ぶ大型ごみ収集センターの受信内容には、大型ごみの新規申し込みや申込内容の変更・キャンセルなどの他、収集時のトラブルや苦情や清掃事業全般に係る問い合わせ等が広く寄せられる。令和3年度においては、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響と考えられる入電数の増加が見られ、例年50万件前後で推移していた年間入電数が60万件を超えるなど、予想を上回る入電があり、受付応答率85%を達成するには至らなかった。 しかしながら、このような状況にあって、電話受付業務受託者が限られた回線で効率的かつ迅速に受付業務を遂行することが出来るよう、例外的又は回答困難な問い合わせ・クレーム等があった場合は、管理運営業務受託者が速やかに引継ぎ対応しており、大型ごみ収集に係る一連の作業の円滑な遂行について、十分な効果が出ているものと認められる。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善 適切な人員配置の検討や事務的経費の削減等により、収支状況の改善に努める必要がある。

## 事業評価 ( 5 ) 事業系ごみ収集運搬事業 (自主事業)

1. 事業概要	事業所管課： 環境局環境事業部事業廃棄物課	担当： 佐藤 (隆)	電話： 011-211-2927
(1)事業内容	①事業系ごみ、②家庭系の一時的多量ごみ、③家庭系廃棄パソコンの収集運搬 ・市内全域約34,000事業所のごみを、許可を受けた収集車両で収集している。 ・「資源化ごみ(紙くずなど)」「びん・缶・ペットボトル」「生ごみ」「剪定枝」の分別収集を実施 ・1日排出量40リットル以下の少量排出事業所(約24,000)は、専用のプリペイド袋で収集 ・すすきの早朝収集の実施(カラス等被害の防止) ・収集車両は約200台が許可登録されている。		
(2)事業目的	札幌市内の事業所から排出される一般廃棄物及び再生可能品(びん・缶・ペットボトル)の適正な収集運搬を行い、併せて分別リサイクルを推進するとともに、家庭から排出される引越し時等一時多量ごみの収集運搬など市の収集体制を補完する。		
(3)事業開始	平成6年(1994年)4月1日		

### 2. 実施結果

項目		R2年度	R3年度	(前年比)	
(1)事業収支(単位:千円)	収入(経常収益比)	5,848,066 ( 83.7% )	6,094,345 ( 84.2% )	(+246,279)	
	市補助金・交付金・負担金			(0)	
	市業務委託料			(0)	
	市指定管理費			(0)	
	市施設利用料金収入			(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	5,848,066	6,094,345	(+246,279)	
	その他収入			(0)	
	費用(支出)	5,512,335	5,566,145	(+53,810)	
	事業費	5,485,771	5,538,691	(+52,920)	
	管理費等	26,564	27,454	(+890)	
収支差	335,731	528,200	(+192,469)		
収支比率	106.09%	109.49%	(+3.40%)		
(2)活動指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	収集量(重量)	145,086 t	152,350 t	146,713t	147,660t
②	収集量(体積)	923,288m <sup>3</sup>	931,960m <sup>3</sup>	950,440m <sup>3</sup>	925,480m <sup>3</sup>
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	事業系ごみのリサイクル率	18.7%	18.7%	18.2%	18.5%
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

### 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	市内全域の事業所から出る一般廃棄物を一元的に収集・運搬することで、分別収集が徹底されている。 また、専用プリペイド袋による収集は、少量排出事業所に対するきめ細かな対応を可能とし、事業系一般廃棄物の適正排出を確保している。 収集量はコロナ禍前と比較して減少したまま横ばいで推移しているが、リサイクル率は前年度と同様、コロナ禍前の水準と同程度であった。今後とも、多分別収集体制を継続させることで、一定のリサイクル率を確保し、廃棄物のリサイクルを通じた資源の有効活用に努める必要がある。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	顧客の排出量に合わせて伝票収集とプリペイド袋による収集を実施するなど、継続的に効率的な収集運搬を行っており、現時点での収支状況は良好である。しかしながら、多様な排出ニーズに今後も対応していかなくて、将来的に支出が増加し、収支状況に影響が出ることも思慮される。

## 事業評価 ( 6 ) 不燃用プリペイド袋リサイクル事業 (自主事業)

1. 事業概要	事業所管課: 環境局環境事業部事業廃棄物課	担当: 佐藤 (隆)	電話: 011-211-2927
(1)事業内容	少量排出事業所から不燃用プリペイド袋で排出される不燃ごみから「びん・缶・ペットボトル」等の資源物を手選別しリサイクルを推進する事業を実施している。		
(2)事業目的	札幌市のごみ埋立地の延命化、資源の有効利用促進を図るため、可能な限り市内排出事業者から収集する事業系一般廃棄物の選別・再資源化に努める。		
(3)事業開始	平成21年(2009年) 4月1日		

### 2. 実施結果

(1)事業収支 (単位: 千円)	項目	R2年度	R3年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		1,658 ( 0.0% )	2,819 ( 0.0% )	(+1,161)
市補助金・交付金・負担金	市補助金・交付金・負担金			(0)	
	市業務委託料			(0)	
	市指定管理費			(0)	
	市施設利用料金収入			(0)	
	自主事業収入 (補助金除く)	1,658	2,819	(+1,161)	
	その他収入			(0)	
費用 (支出)	費用 (支出)	59,162	62,371	(+3,209)	
	事業費	58,877	62,063	(+3,186)	
	管理費等	285	308	(+23)	
収支差		▲ 57,504	▲ 59,552	(▲ 2,048)	
収支比率		2.80%	4.52%	(+1.72%)	
(2)活動指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	処理量	2,019 t	2,000 t	1,948t	2,000t
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	総搬出量に対する資源物搬出量の割合	33.6%	30.0%	34.3%	30.0%
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

### 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	<p>少量排出事業所から排出される不燃ごみから、びん・缶・ペットボトル、金属類、軟質プラスチック等の資源物を選別し、リサイクルすることで、事業系ごみの減量化と資源の有効利用、埋立地の延命化に貢献している。</p> <p>近年は排出者のリサイクル意識が向上し、ごみの分別が進んできたことから、不燃用プリペイド袋による排出自体が減少傾向となっており、混入している資源物の量も減少傾向となっているが、選別作業の精度向上の取組などにより、選別される資源物の割合は目標を上回っている。</p>
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	収支については公益目的支出であり、支出計画どおりに進んでいる。

事業評価 ( 7 ) 中沼プラスチック・雑がみ選別センター施設管理事業 (受託業務)

1. 事業概要	事業所管課： 環境局環境事業部施設管理課	担当： 伊藤	電話： 011-211-2922
(1)事業内容	<p>中沼プラスチック選別センターは、容器包装リサイクル法に基づき一般家庭から排出されたプラスチックごみから、国が定める分別基準に適合するよう不適物を取り除く施設（市施設）である。選別後の資源は、指定法人に引き渡され、再商品化事業者によりリサイクルされる。</p> <p>中沼雑がみ選別センターは、「スリムシティさっぽろ計画」に基づき、一般家庭から排出された雑がみから、製紙原料に適合するよう不適物を取り除く施設（市施設）である。選別後の資源は、製紙原料として製紙会社等に売却している。また、取除いた不適物は、固形燃料の原料として資源化している。</p> <p>上記2施設は隣接しており、類似の業務であることから、施設を適正に運営するため、当団体が総括的な施設管理を実施している。</p>		市委託料(随意契約) 64,900
(2)事業目的	市の中沼プラスチック選別センター及び中沼雑がみ選別センターを適正に管理し、市が分別収集した資源のリサイクルを推進する。		
(3)事業開始	平成12年(2000年)7月(プラスチック)、平成21(2009)年7月(雑がみ)		

2. 実施結果

(1)事業収支(単位:千円)	項目	R2年度	R3年度	(前年比)	
	収入(経常収益比)		65,670 ( 0.9%)	64,900 ( 0.9%)	(▲ 770)
市補助金・交付金・負担金				(0)	
市業務委託料	65,670	64,900	(▲ 770)		
市指定管理費			(0)		
市施設利用料金収入			(0)		
自主事業収入(補助金除く)			(0)		
その他収入			(0)		
費用(支出)		56,524	64,553	(+8,029)	
事業費	56,251	64,235	(+7,984)		
管理費等	273	318	(+45)		
収支差		9,146	347	(▲ 8,799)	
収支比率		116.18%	100.54%	(▲ 15.64%)	
(2)活動指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	機器故障等による容器包装プラスチックの受入停止	0回	0回	0回	0回
②	機器故障等によるプラスチック選別施設の稼働停止	0回	0回	0回	0回
③	機器故障等による雑がみの受入停止	0回	0回	0回	0回
④	機器故障等による雑がみ選別施設の稼働停止	2回	0回	1回	0回
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	容器包装プラスチックの受入量	31,248 t	30,100 t	30,916t	30,300t
②	プラスチックの品質評価ランク	A	A	A	A
③	雑がみの受入量	9,936 t	10,980 t	8,772t	10,480t
④	製紙原料率	76%	79%	76%	82%
⑤	RDF原料率	21%	21%	20%	18%
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	<p>事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない</p> <p>雑がみ選別センターにおいては、機器故障に伴う選別機器の稼働停止があったが、両施設ともに受入停止を伴うような大きな運転上の支障はなく、適正な保守管理を行った。プラスチック選別センターにおいては、近年、モバイルバッテリーが使用された電子機器の混入に起因する発火・発煙が発生していることを受け、消防機能の向上に向けた検討、調整を行い施設の安定稼働を図っている。</p> <p>受入量については、近年、プラスチック選別センターで増加傾向にあるが、いずれの施設も適正な処理により良好な品質を維持しながら、計画どおりリサイクルを推進している。</p>
(2)収支状況	<p>当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善</p> <p>委託料に対し適切な人員管理と経験の蓄積により効率的に業務を遂行した。</p>

## 事業評価 ( 8 ) 剪定枝等処理事業 ( 自主事業 )

1. 事業概要	事業所管課： 環境局環境事業部事業廃棄物課	担当： 佐藤 ( 隆 )	電話： 011-211-2927
(1) 事業内容	剪定枝等リサイクル施設 ( 篠路資源化工場内 ) において、剪定枝などの生木をチップ化して、堆肥の材料、燃料用チップなどへのリサイクル事業を実施している。		
(2) 事業目的	剪定枝などの生木を破砕し、チップ化することにより、資源の有効活用に寄与する。		
(3) 事業開始	平成20年 ( 2008年 ) 10月 1日		

### 2. 実施結果

(1) 事業収支 ( 単位 千円 )	項目	R2年度	R3年度	( 前年比 )	
	収入 ( 経常収益比 )		77,906 ( 1.1 % )	73,431 ( 1.0 % )	( ▲ 4,475 )
市補助金・交付金・負担金				( 0 )	
市業務委託料				( 0 )	
市指定管理費				( 0 )	
市施設利用料金収入				( 0 )	
自主事業収入 ( 補助金除く )		77,906	73,431	( ▲ 4,475 )	
その他収入				( 0 )	
費用 ( 支出 )		72,173	54,411	( ▲ 17,762 )	
事業費		71,847	54,143	( ▲ 17,704 )	
管理費等		326	268	( ▲ 58 )	
収支差		5,733	19,020	( +13,287 )	
収支比率		107.94%	134.96%	( +27.01% )	
(2) 活動指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
① 処理量		6,323 t	6,000 t	6,074 t	6,000 t
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3) 成果指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
① 処理において資源化できた割合		100%	100%	100%	100%
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

### 3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	剪定枝や伐採木などの生木を破砕・チップ化し、堆肥製造業者などに出荷することで、事業系一般廃棄物の減量が促進されるだけでなく、木質資源の有効活用や埋立地の延命化に貢献している。
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	現時点では継続して利益が計上できている。しかしながら、安定的に事業運営を行うためには、受入量を一定的に確保し、チップ供給の安定化を図り、より一層のチップの販路開拓に努める必要がある。

## 貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度(a)	前年度(b)	増減(a-b)
<b>【資産の部】</b>			
<b>I. 流動資産</b>			
現金預金	2,052,609,223	1,788,966,861	263,642,362
貯蔵品	14,515,296	13,074,384	1,440,912
前払費用	687,405	689,455	△ 2,050
未収入金	742,060,353	734,001,382	8,058,971
預け入金	4,000	4,000	0
貸倒引当金	△ 3,784,697	△ 3,757,304	△ 27,393
流動資産合計	2,806,091,580	2,532,978,778	273,112,802
<b>II. 固定資産</b>			
<b>1. 基本財産</b>			
基本財産引当預金	40,000,000	40,000,000	0
基本財産合計	40,000,000	40,000,000	0
<b>2. 特定資産</b>			
退職給付引当預金	89,821,550	90,190,880	△ 369,330
特定資産合計	89,821,550	90,190,880	△ 369,330
<b>3. その他固定資産</b>			
建物	795,941,529	873,935,474	△ 77,993,945
建物附属設備	69,692,548	45,720,742	23,971,806
構築物	89,778,231	16,726,601	73,051,630
機械装置	100,113,625	94,510,474	5,603,151
車両運搬具	11,986,511	23,973,019	△ 11,986,508
工具器具備品	10,768,110	2,589,653	8,178,457
ソフトウェア	22,662,979	22,367,985	294,994
ソフトウェア仮勘定	5,665,000	4,345,000	1,320,000
長期前払費用	916,270	1,574,205	△ 657,935
繰延税金資産	24,717,698	17,889,560	6,828,138
その他固定資産合計	1,132,242,501	1,103,632,713	28,609,788
固定資産合計	1,262,064,051	1,233,823,593	28,240,458
資産合計	4,068,155,631	3,766,802,371	301,353,260
<b>【負債の部】</b>			
<b>I. 流動負債</b>			
未払金	533,031,969	580,759,606	△ 47,727,637
前受金	73,025,480	139,357,064	△ 66,331,584
預り金	2,129,611	1,867,547	262,064
未払消費税等	22,036,200	14,919,100	7,117,100
未払法人税等	117,855,200	85,984,400	31,870,800
一年以内リース債務	2,765,162	890,352	1,874,810
賞与引当金	29,266,931	30,015,246	△ 748,315
流動負債合計	780,110,553	853,793,315	△ 73,682,762
<b>II. 固定負債</b>			
リース債務	7,859,038	1,125,865	6,733,173
退職給付引当金	89,821,550	90,190,880	△ 369,330
資産除去債務	750,665,307	747,446,968	3,218,339
固定負債合計	848,345,895	838,763,713	9,582,182
負債合計	1,628,456,448	1,692,557,028	△ 64,100,580
<b>【正味財産の部】</b>			
<b>I. 指定正味財産</b>			
寄附金	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産合計	30,000,000	30,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
<b>II. 一般正味財産</b>	2,409,699,183	2,044,245,343	365,453,840
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	2,439,699,183	2,074,245,343	365,453,840
負債及び正味財産合計	4,068,155,631	3,766,802,371	301,353,260

## 正味財産増減計算書

自 令和 3年 4月 1日  
至 令和 4年 3月 31日

(単位:円)

科 目	当 年 度 (a)	前 年 度 (b)	増 減(a)-(b)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0
② 特定資産運用益	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0
③ 事業収益	7,234,954,625	6,984,810,386	250,144,239
1 下燃用ブリヘイド袋リサイクル事業収益	2,818,552	1,657,607	1,160,945
2 剪定枝等処理事業収益	73,431,344	77,906,144	△ 4,474,800
3 ひん・缶・ペットボトル選別事業収益	869,000,000	863,500,000	5,500,000
4 施設管理受託事業収益	173,910,000	172,040,000	1,870,000
ごみ資源化工場施設管理事業収益	83,600,000	82,060,000	1,540,000
中沼アソシエイト選別センター施設管理事業収益	39,589,000	40,320,000	△ 731,000
中沼がみ選別センター施設管理事業収益	25,311,000	25,350,000	△ 39,000
札幌市リサイクル団地管理事業収益	25,410,000	24,310,000	1,100,000
5 大型ごみ収集センター管理運営事業収益	21,450,000	21,640,300	△ 190,300
6 事業系ごみ収集運搬事業収益	6,094,344,729	5,848,066,335	246,278,394
収集運搬事業収益	6,076,189,473	5,825,286,145	250,903,328
分別収集有価物売却収益	18,155,256	22,780,190	△ 4,624,934
④ 雑収益	3,669,618	1,119,809	2,549,809
雑収益	3,669,618	1,119,809	2,549,809
経 常 収 益 計	7,238,624,243	6,985,930,195	252,694,048
(2) 経常費用			
① 事業費	6,813,760,779	6,752,430,232	61,330,547
役員報酬	3,377,240	3,283,111	94,129
給料手当	351,542,840	321,662,247	29,880,593
臨時雇賃金	0	17,091,176	△ 17,091,176
退職給付費用	6,548,901	7,003,246	△ 454,345
賞与引当金繰入額	28,748,090	29,509,803	△ 761,713
法定福利費	59,933,579	58,717,624	1,215,955
福利厚生費	12,019,638	11,350,662	668,976
消耗品費	35,471,687	43,847,364	△ 8,375,677
処分料	2,768,872,356	2,740,847,572	28,024,784
ブリヘイド袋製作費	50,652,174	49,322,944	1,329,230
機械部品費	9,979,004	23,064,018	△ 13,085,014
消耗什器備品費	6,173,192	16,498,051	△ 10,324,859
保険料	2,456,010	2,504,480	△ 48,470
修繕費	22,968,565	30,668,737	△ 7,700,172
旅費交通費	349,020	355,530	△ 6,510
通信運搬費	14,151,292	14,057,749	93,543
光熱水料費	40,407,122	36,927,377	3,479,745
燃料費	20,979,692	14,738,668	6,241,024
支払手数料	102,714,015	99,661,107	3,052,908
委託代行料	703,160,293	695,776,401	7,383,892
広告宣伝費	2,264,692,053	2,217,091,360	47,600,693
印刷製本費	447,500	387,000	60,500
印刷製本費	18,369,354	18,251,137	118,217
諸謝金	264,000	264,000	0
貸借料	29,050,437	29,338,785	△ 288,348
負債担保金	562,800	344,400	218,400
雑費	982,505	1,348,866	△ 366,361
公租公課費	103,420,020	95,966,070	7,453,950
支払利息	3,396,097	3,265,494	130,603
貸倒損失	159,743	236,899	△ 77,156
貸倒引当金繰入	432,172	409,318	22,854
減価償却費	151,479,388	168,639,036	△ 17,159,648



	科 目	当 年 度 (a)	前 年 度 (b)	増 減(a)-(b)
58	②管理費	33,774,326	32,697,510	1,076,816
59	役員報酬	7,139,333	7,076,581	62,752
60	給料手当	5,724,464	5,376,515	347,949
61	臨時雇賃金	0	225,988	△ 225,988
62	退職給付費用	146,879	136,344	10,535
63	賞与引当金繰入額	518,841	505,443	13,398
64	法定福利費	2,600,290	2,580,618	19,672
65	福利厚生費	322,920	318,708	4,212
66	消耗品費	618,137	745,120	△ 126,983
67	消耗什器備品費	588,720	105,332	483,388
68	旅費交通費	298,218	90,660	207,558
69	通信運搬費	900,115	852,541	47,574
70	光熱水料費	436,730	453,928	△ 17,198
71	支払手数料	442,000	436,000	6,000
72	会議費	156,280	230,580	△ 74,300
73	委託費	1,546,958	4,482,644	64,314
74	交際費	10,000	20,000	△ 10,000
75	広告宣伝費	247,500	110,000	137,500
76	印刷製本費	540,700	511,720	28,980
77	諸謝金	2,484,132	2,614,519	△ 130,387
78	貸借料	5,306,128	4,842,748	463,380
79	負担金	137,300	137,300	0
80	雑費	42,195	98,249	△ 56,054
81	公租公課	58,648	32,194	26,454
82	支払利息	6,547	6,515	32
83	減価償却費	501,291	707,263	△ 205,972
84	経常費用計	6,847,535,105	6,785,127,742	62,407,363
85	評価損益等調整前当期経常増減額	391,089,138	200,802,453	190,286,685
86	特定資産評価損益	0	0	0
87	評価損益等計	0	0	0
88	当期経常増減額	391,089,138	200,802,453	190,286,685
89	2. 経常外増減の部			
90	(1) 経常外収益			
91	固定資産受贈益	86,189,751	0	86,189,751
92	経常外収益計	86,189,751	0	86,189,751
93	(2) 経常外費用			
94	固定資産除却損	797,987	0	797,987
95	経常外費用計	797,987	0	797,987
96	当期経常外増減額	85,391,764	0	85,391,764
97	税引前当期一般正味財産増減額	476,480,902	200,802,453	275,678,449
98	法人税、住民税及び事業税	117,855,200	85,984,400	31,870,800
99	法人税等調整額	△ 6,828,138	4,655,239	△ 11,483,377
100	当期一般正味財産増減額	365,453,840	110,162,814	255,291,026
101	一般正味財産期首残高	2,044,245,343	1,934,082,529	110,162,814
102	一般正味財産期末残高	2,409,699,183	2,044,245,343	365,453,840
103	II 指定正味財産増減の部			
104	当期指定正味財産増減額	0	0	0
105	指定正味財産期首残高	30,000,000	30,000,000	0
106	指定正味財産期末残高	30,000,000	30,000,000	0
107	III 正味財産期末残高	2,439,699,183	2,074,245,343	365,453,840